

## 肺炎球菌ワクチンの定期接種を受けましょう

肺炎は日本人の死亡原因、がん、心臓の病気に次いで3番目に多い疾患です。肺炎により亡くなる方の95%は65歳以上の方です。肺炎は発症後に急激に症状が進み、命に関わる危険性もあります。

### なぜ肺炎になるのか？

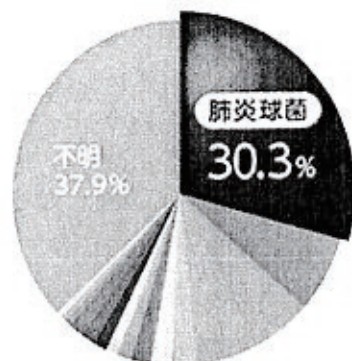
肺炎は主に細菌やウイルスなどが体に入り込んで起こる肺の炎症です。

肺炎で一番多い原因菌は肺炎球菌(30.3%)です。

細菌の多くは人のからだや日常生活の中に存在しています。

高齢だったり持病があったりして抵抗力(免疫力)が弱まったときなどに感染を起こしやすくなります。

症状としては発熱、咳、痰、息苦しさ、胸の痛みなどがあげられます。



### 肺炎を予防するには？

#### 1 予防接種を受ける

◆肺炎球菌ワクチンを必ず接種しましょう

◆インフルエンザワクチン接種を受けましょう

インフルエンザをきっかけに感染に対する抵抗力が弱まり細菌感染をおこすことで肺炎にかかることがあります。インフルエンザ予防することも肺炎予防につながります。

#### 2 細菌やウイルスを体に入り込まないようにする

マスク、手洗い、うがい、歯磨きなどで口の中を清潔にする 誤嚥を防ぐ

#### 3 体の抵抗力を強める・規則正しい生活 禁煙 持病の治療を行う

### 肺炎球菌ワクチンには「ニューモバックス NP」「プレベナー 13」の2種類あります

#### ニューモバックスNP

・ポリサッカライドワクチン/23 価に効果がある。

・免疫機能を維持するために5年に一度の接種が必要です。

・鼻や喉の粘膜への定着(保菌)を防止できないため、上気道炎、中耳炎、副鼻腔炎など一般的な風邪の予防にはなりません。

接種方法…定期接種、任意接種どちらでも受けられます。

◇定期接種→予防接種法に基づき市町村が実地する予防接種。対象となる年度においてのみ定期接種として公費の助成が受けられます(助成は生涯1回のみ)

対象者…今までに肺炎球菌ワクチンを一度も受けていない方

(対象年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳)

◇任意接種→患者様の判断で受けられる予防接種。費用は自己負担になりますが、市町村によっては助成を行っている場合がありますので居住市町村で確認しましょう。

#### プレベナー13…任意接種 65歳以上対象 自費のみ、公費での接種不可。

・コンジュゲートワクチン(結合型ワクチン)/13 価に効果がある。

・免疫記憶効果あり(生涯に一度の接種で効果あり)

・鼻や喉の粘膜への定着(保菌)を防止し、上気道炎、中耳炎、副鼻腔炎などに予防効果あり。

◇接種方法として…すでに肺炎球菌を接種した方→1年以上間隔をあけてから接種

まだ肺炎球菌を接種してない方→プレベナーを先に接種

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し重症化を防ぐワクチンです。

対象年齢になったら早めの接種をお勧めしますので、当院にご相談ください。